

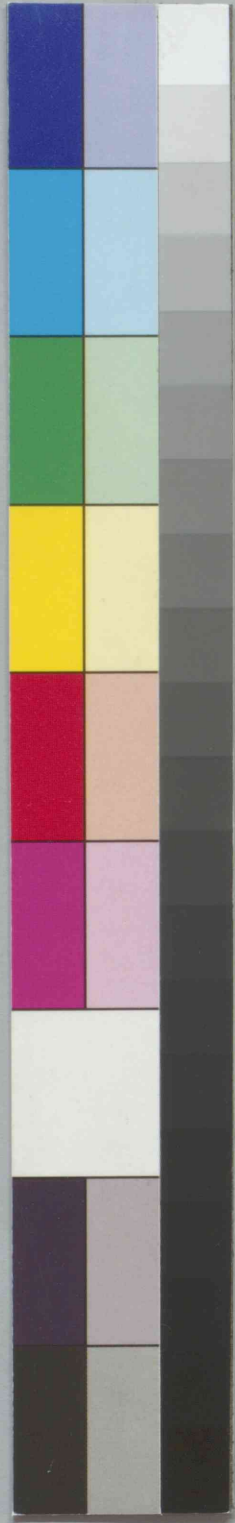
世界大戦争の研究 一

(戦争の規模)

國政研究會

昭和七年七月十

中
詳馬県立図書館
文庫





世界大戦争の研究

(戦争の規模)

(昭和七年七月十五日調)

國政研究會

6341

注意事項

- 資料は大切に扱きましょう。
- 資料は転貸借はお断りします。
- 15日間の期限に必ず返して下さい。
- 資料を汚損または紛失した時は同一の資料又は相当代価を弁償していただきます。

群馬県立図書館
前橋市日吉町一丁目14-8
電話 (0272) 3008 番

世界大戦争の研究(戦争の規模)

目録

- 一、世界戦争の原因
- 二、世界戦争の期間
- 三、交戦國
- 四、世界戦争の規模
- 五、交戦諸國の面積
- 六、交戦諸國の人口
- 七、交戦諸國の總動員数
- 八、同
- 九、交戦諸國の喪失兵力
- 十、同
- 二、交戦諸國の國富

一 二 一 二

一頁 三 四 九 二 五 八 三 五 八 三〇

- 一、交戦諸國の貿易額
- 二、交戦諸國の船舶
- 三、交戦諸國の鐵道

世界大戦争の研究

(戦争の規模)

世界戦争の
原因

一九一四年六月二十八日セルビアの一元徒(十九歳なる)の放つ一發の銃火を合圖として起れる世界戦争

争は其の範圍は世界面積の六六%に亘り人口はこれまた世界の八九%を占めてゐた、斯くの如くすべきの點に於て前古未曾有と稱すべきである、交戦相互の兵力の絶大無比なるに於て、各國消費額の古今戦史の記録を超越せることに於て、戦鬪の實況の猛烈惨憺を極めたることに於て從來歴史上の大戦争と稱すべきものと比較するに恰も巨人と小兒の比較に類するものがある。

然らば此の戦争の原因は何であるか、奥國皇太子

之夫妻の暗殺は直接の動機小過々々、根本的原因是に他に存する。

それは新舊二大勢力の衝突にして殊に新興國民獨逸の精力鬱鬱結小外ふらふ、而して

(イ) 英獨の抗争

二國の經濟的政治的世界政策の衝突

(ロ) 露獨の抗争

二國の經濟的政治的世界政策の衝突

(ハ) 佛獨の舊讎

二國の舊怨關係及植民的利害の衝突

(ニ) 民族問題

各國に於ける異分子の國民的統一の運動

の關係は内政の變革に、國際關係の變動に必らず其の噴火口を得ずんば止まざらんとしてゐた、革命の、戦争の、何れにしても歐洲の天地はふぶく、姑息ある平和、姑息ある現状維持をゆるさざりしは大戦の前の状態である。

奥國皇太子夫妻の暗殺は其の口火となりしに過ぎぬ、

二、

世界戦争の
期間

此の戦争は一九一四年六月二十八日奥國皇太子夫妻の暗殺に端を發し同年七月二十八日奥匈

國、塞國開戦を経て一九一八年十一月十一日の聯合國對獨逸國休戦條約締結に其局を結んだ、

此の日獨逸皇帝カイザルは和蘭に逃れ越えて十三日奥帝キヤールス一世は退位した、

其の間年を閲すること四年半世界を擧げし戦争に從事したのである。

交戦國

試みに其の交戦國を見ん

同盟側 獨逸、奧匈、勃牙利、土耳其、

聯合國側 佛、英、伊、露、米、日、塞爾比等、

なりと雖も宣戦布告又は外交断絶せる國は殆ど世
界の全体に亘り國といふ國は悉く戦争の渦中に卷こ
込まれた、諾威、瑞典、丁抹、和蘭、瑞西等の歐洲諸國
は遂に宣戦を公布すること、外交を断絶すること
した、んだが之は獨逸、奧匈側と聯合國との勢力の中間に
立ち、両者の孰れへも加擔するを得ず、又加擔せし
むるを得ふんだ為めに外ふらぬ、それだけに此等の
諸國は事實宣戦公布國の或ものよりも却つて大
なる困難を嘗め、直接の影響を戦争のうり受けた

といふ

今交戦國名及其の各宣戦し若くは交戦状態の成立
したる日付を列擧すれば左の如くである、

一、奧匈國と塞爾比 一九一四年七月二十八日

二、獨逸と露西亞 八月一日

三、獨逸と佛蘭西 八月三日

四、獨逸と白耳義 八月四日

五、英國と獨逸 八月四日

六、奧匈國と露西亞 八月六日

七、塞爾比と獨逸 八月六日

八、黒山國と奧匈國 八月七日

九、黒山國と獨逸 八月九日

五、佛國と奧匈國 八月十二日

三七、玖馬と獨逸 一九一七年四月七日
 三八、希臘と獨逸 七月二日
 三九、希臘と勃牙利 七月二日
 四〇、希臘と埃匈國 七月二日
 四一、希臘と土耳其 七月二日
 四二、暹羅と埃匈國 七月二十二日
 四三、暹羅と獨逸 七月二十二日
 四四、リベリアと獨逸 八月四日
 四五、支那と獨逸 八月十四日
 四六、支那と埃匈國 八月十四日
 四七、伯刺西爾と獨逸 十月二十六日
 四八、米國と埃匈國 十二月七日
 四九、巴奈馬と埃匈國 十二月十日

五〇、玖馬と埃匈國 同 十二月十六日
 五一、ガテマラと獨逸 一九一八年四月二十六日
 五二、ニカラガと埃匈國 同 五月六日
 五三、ニカラガと獨逸 同 五月六日
 五四、コスタリカと獨逸 同 五月二十四日
 五五、ハイチと獨逸 同 七月十五日
 五六、ホンデユラスと獨逸 同 七月十九日

世界戦争の規模

四

世界戦争の規模を示さんに世界に對し

面積に於て 六六%
 人口に於て 八九%

動員数に於て 四%
 國富に於て 九%
 貿易額に於て 七五%
 船舶に於て 八三%
 鐵道に於て 八六%

にして世界の大部分が戦争に参加したるを見る
 以下順次之が細別を示す(一)

總括表

区分	世界	交戦諸國	交戦諸國の世界に對する割合%
面積	五五、五〇〇、〇〇〇 ^{平方哩}	三六、八二五、九三五	六六
人口	一、六五二、〇〇〇、〇〇〇人	一、四七五、三〇四、〇〇〇	八九
人口と動員数	一、六五二、〇〇〇、〇〇〇人	六九、〇六〇、〇〇〇	四
動員数と其の國人口	一、四七五、三〇四、〇〇〇人	六九、〇六〇、〇〇〇	四、七

動員数と喪失兵力	喪失兵力と其の國の人口	國富	貿易額	船舶	鐵道
(一、六九〇、〇六〇、〇〇〇)人	(一、四七五、三〇四、〇〇〇)人	一、五二二、七七四、〇〇〇 ^円	八、〇八四、五三四、〇〇〇 ^円	四、五七二、九二〇 ^噸	六九〇、二〇〇 ^哩
三三、一五三、〇〇〇	三三、一五三、〇〇〇	一、三八二、一九七、〇〇〇 ^円	六、〇九二、三一一、〇〇〇	三、七九九、三五五	五九二、八六九
四八	二	九一	七五	八三	八六

五

交戦諸國の面積は三千六百八十餘萬平方哩にして之を世界總面積五千五百五十萬平方哩に對比すれば六六%を占む

之を大別すれば左の如し

區分面積
 世界の總面積 五五、五〇〇、〇〇〇 平方哩

總面積に對する割合
 一〇〇

内
 交戰諸國面積

聯合國側

三四、四七九、七〇四

六二

同盟國側

二、三四六、二三一

四

計

三六、八二五、九三五

六六

其他の分

一八、六七四、〇六五

三四

其の國別内譯は次表の通り

交戰諸國の面積の世界面積に對する割合表

國別	面積	總面積に對する割合
世界總面積	五五、五〇〇、〇〇〇 平方哩	一〇〇

内

交戰諸國

聯合國側

日本

二四五、五五一

英國

一〇、九七四、六九三

佛國

四、一〇三、九八一

米國

三、七四六、〇一八

伊國

五、六二六、〇〇六

露國

八、四三六、八五九

白耳義

九、二四、五〇〇

塞爾比

三、三、七〇七

羅馬尼

五、三、二四四

黑山國

五、四七五

葡萄牙	八四三六一〇
支那	四二七八三五六
暹羅	一九五〇〇〇
玖馬	四四二一八
巴奈馬	三一八九〇
計	三四、四七九、七〇四
同盟國側	
獨逸	一、三四八、七二八
奧匈國	二六、一二四一
土耳其	六九二、二四〇
勃牙利	四四、〇二二
計	二、三四六、二三一
合計	三六、八二五、九三五

六二

六六

其他ノ分

一八六七四、〇六五

三四

(一九一八年米國政府發表に依る)

交戦諸國の人口

交戦諸國の人口は十四億七千五百三十萬餘人にし、世界人口十六億五千二百萬人に對し八九%を占む

區分

人口

總人口に對する割合

世界總人口

一、六五二、〇〇〇、〇〇〇人

一〇〇

交戦諸國人口

聯合國側分

一、三一六、〇三、〇〇〇

八〇

同盟國側分

一、五九二、七三、〇〇〇

九〇

計
其他

其の國別内譯は次表の通り
文戦諸國の人口の世界總人口に對する割合表

一四七五、三〇四、〇〇〇
一七六、六九六、〇〇〇

一八九

國別

人口

總人口に對する割合

世界總人口

一六五二、〇〇〇、〇〇〇人

一〇〇

内

文戦諸國

聯合國側

日本

七六、五八九、〇〇〇

英國

四一六、七七八、〇〇〇

佛國

八九、四三五、〇〇〇

米國

一一五、一六四、〇〇〇

同盟國側

伊國

三七、九九六、〇〇〇

露國

一八二、一七四、〇〇〇

白耳義

二二、六五八、〇〇〇

塞爾比

四、六二二、〇〇〇

羅馬尼

七、五〇八、〇〇〇

黑山國

五、一六〇、〇〇〇

葡萄牙

一五、二二五、〇〇〇

支那

三三六、〇四二、〇〇〇

暹羅

八、二六六、〇〇〇

玖馬

二、六二八、〇〇〇

巴奈馬

四、三〇、〇〇〇

計

一、三一六、〇三一、〇〇〇

八〇

獨逸	八〇、八七八、〇〇〇	
埃匈國	五二、三六八、〇〇〇	
土耳其	二一、二七四、〇〇〇	
勃牙利	四、七五三、〇〇〇	
合計	一五九、二七三、〇〇〇	九
其他、分	一四七五、三〇四、〇〇〇	八九
	一七六、六九六、〇〇〇	一

(一九一八年米國政府
發表に依り)

交戦諸國の
總動員數の一

交戦諸國の總動員數は六千九百餘萬人にして
世界人口十六億五千二百萬人に對し四%である

七、

之を大別すれば左の如し

區分 總動員數

世界總人口 一六五二、〇〇〇、〇〇〇

總人口に對する割合

一〇、〇

交戦諸國の總動員數

聯合國側 四三、六六〇、〇〇〇

二、七

同盟國側 二五、四〇〇、〇〇〇

一、五

計 六九、〇六〇、〇〇〇

四、二

其他の分 一五八二、九四〇、〇〇〇

九五、八

其の國別内譯は次表の通

交戦諸國の總動員數の世界總人口に對する割合表

國別	總動員數	總人口に對する割合
世界總人口	一六五二、〇〇〇、〇〇〇	一〇、〇

交戰諸國
聯合國側

日本
英國
佛國
米國
伊國
露國
白耳義國
塞爾比
羅馬尼
黑山國
葡萄牙

一六〇、〇〇〇
八〇〇、〇〇〇
八〇二〇、〇〇〇
四二五〇、〇〇〇
四、五〇〇、〇〇〇
一六、七〇〇、〇〇〇
四、五〇〇、〇〇〇
七、一〇〇、〇〇〇
八、五〇〇、〇〇〇
二、〇〇〇、〇〇〇

克羅那
暹羅
汶馬
巴奈馬

同盟國側

計
獨逸
埃因國
土耳其
勃牙利

其他、分
合計

四三、六六〇、〇〇〇
一、二二五、〇〇〇
九、三〇〇、〇〇〇
二、七〇〇、〇〇〇
一、一五〇、〇〇〇
二、五〇〇、〇〇〇
七、九〇〇、〇〇〇
一、五八二、九四〇、〇〇〇

二七
一、五
四、二
九、五、八

交戦諸國の
總動員數の二

交戦諸國の總動員數の其の國人口に對する割合
は約五%である。

これを一別すれば左の如し

區分 人口 總動員數 其の國人口に對する割合

聯合國側 一三、六〇三、〇〇〇人 四三、六六〇、〇〇〇人 三、三

同盟國側 一、五九、二七三、〇〇〇 二五、四〇〇、〇〇〇 一、五、九

計 一、四七、五三〇、〇〇〇 六九、〇六〇、〇〇〇 四、七

其の國別内譯は次表の通

交戦諸國の總動員數の其の國人口に對する割合表

(一九一七年十月一日現在)

國別	人口	總動員數	其の國人口に對する割合%
交戦諸國			
聯合國側			
日本	七、六、五八九、〇〇〇	一、六〇、〇〇〇	〇、二
英國	四、一、六、七、七、八、〇〇〇	八、〇〇、〇〇〇	一、九
佛國	八、九、四、三、五、〇〇〇	八、〇二〇、〇〇〇	九、〇
米國	一、一、五、一、六、四、〇〇〇	四、二、五、〇、〇〇〇	三、七
伊國	三、七、九、九、六、〇〇〇	四、五、〇、〇〇〇	一、一、八
露國	一、八、二、一、七、四、〇〇〇	一、六、七、〇、〇〇〇	九、二
白耳義	二、二、六、五、八、〇〇〇	四、五、〇、〇〇〇	二、〇
塞爾比	四、六、二、二、〇〇〇	七、一、〇、〇〇〇	一、五、四
羅馬尼	七、五、〇、八、〇〇〇	八、五、〇、〇〇〇	一、一、三
黒山國	五、一、六、〇〇〇	二、〇、〇〇〇	三、九

葡 萄 牙	一五、二二五、〇〇〇		
支 那	三三六、〇四二、〇〇〇		
暹 羅	八、二六六、〇〇〇		
玖 馬	二、六二八、〇〇〇		
巴 拿 馬	四三、〇〇〇		
計	一、三一六、〇三一、〇〇〇	四三、六六〇、〇〇〇	三、一三
同 盟 國 側			
荷 逸	一、〇八七、八〇〇	一、二二五、〇〇〇	一、五
澳 國	五二、三六八、〇〇〇	九、三〇〇、〇〇〇	一、七、八
土 耳 其	二一、二七四、〇〇〇	一、一七〇、〇〇〇	一、二、七
勃 牙 利	四、七五三、〇〇〇	一、一五〇、〇〇〇	二、四
計	一、五九二、一三三、〇〇〇	二、五四〇、〇〇〇	一、五、九
合 計	一、四八五、三三四、〇〇〇	六、九〇六、〇〇〇	四、七

交戦諸國の
喪失兵力の

九、
交戦諸國の喪失兵力は三千三百十餘萬人にし
て總動員數六千九百餘萬人に對比すれば約四
八%となる其の内死亡數は約千三百萬人といはれ
てを

總動員數	喪失兵力數	總動員數に對する割合%
四三、六六〇、〇〇〇	二、一〇七、三〇〇	四八、三
二、五四〇、〇〇〇	一、二〇八、〇〇〇	四七、六
六、九〇六、〇〇〇	三、三一五、三〇〇	四八、〇

其の國別内譯は次表の通

交戦諸國の喪失兵力數の其動員數に對する割合表

國 別	總動員數	喪失兵力數	總動員數に對する割合%
交 戰 諸 國			

聯合國側

日本 英國 佛國 米國 伊國 露國 白耳義 塞爾比 羅馬尼 黑山國 葡萄牙 支那

一六〇、〇〇〇人
八〇〇、〇〇〇
八〇二、〇〇〇
四、二五〇、〇〇〇
四、五〇〇、〇〇〇
一六、七〇〇、〇〇〇
四、五〇〇、〇〇〇
七、一〇〇、〇〇〇
八、五〇〇、〇〇〇
二、〇〇〇、〇〇〇

三、〇〇〇人
三、〇五〇、〇〇〇
五、五〇〇、〇〇〇
二、六〇〇、〇〇〇
一、九三〇、〇〇〇
九、一五〇、〇〇〇
二、八〇〇、〇〇〇
四、五〇〇、〇〇〇
四、五〇〇、〇〇〇
四、五〇〇、〇〇〇

一、九
三、八、一
六、八、六
六、一
四、二、九
五、四、八
六、二、二
六、三、四
五、二、九

同盟國側

暹羅 玖馬 巴奈馬 計 獨逸 埃因國 土耳其 勃牙利 計 合計

四三、六六〇、〇〇〇
一、二二五、〇〇〇
九、三〇〇、〇〇〇
二、七〇〇、〇〇〇
一、一五〇、〇〇〇
二、五四〇、〇〇〇
六、九〇〇、〇〇〇

二、一〇七、三〇〇
六、〇〇〇、〇〇〇
四、七七〇、〇〇〇
九、五〇〇、〇〇〇
三、〇〇〇、〇〇〇
一、二〇〇、〇〇〇
三、三一五、〇〇〇

四、八、三
四、九、五
五、一、三
三、五、二
二、六、一
四、七、六
四、八、〇

(喪失兵打數中には死傷者捕虜等を含む)

交戦諸國の
喪失兵力の二

交戦諸國の喪失兵力数の其の國人口に對する割合は二%である、

これを大別すれば左の如し

區分 人口 喪失兵力数 其の國人口に對する割合 %

聯合國側 一三六、〇三、〇〇〇 二、〇七三、〇〇〇 一、六

同盟國側 一五九、二七三、〇〇〇 一、二〇八、〇〇〇 七、六

計 一、四七五、三〇四、〇〇〇 三三、一五三、〇〇〇 二、二

其の國別内譯は次表の通

交戦諸國の喪失兵力数の其の國人口に對する割合表

國別	人口	喪失兵力数	其の國人口に對する割合 %
聯合國側			
交戦諸國			

國別	人口	喪失兵力数	其の國人口に對する割合 %
日本	七六、五八九、〇〇〇	三、〇〇〇	〇
英國	四一六、〇〇〇	三、〇五〇、〇〇〇	〇、七
佛國	八九、四三三、〇〇〇	五、五〇〇、〇〇〇	六、一
米國	一、一五、一〇四、〇〇〇	二、六〇〇、〇〇〇	〇、二
伊國	三、七、九九六、〇〇〇	一、九三〇、〇〇〇	五、一
露國	一、八、一、七四、〇〇〇	九、一五〇、〇〇〇	五、〇
白耳義	二、二、六五八、〇〇〇	二、八〇〇、〇〇〇	一、二
塞爾比	四、六、二二、〇〇〇	四、五〇、〇〇〇	九、七
羅馬尼	七、五〇八、〇〇〇	四、五〇、〇〇〇	六、〇
黑山國	五、一六、〇〇〇	?	?
葡萄牙	一、五、二二五、〇〇〇	?	?
支那	三、三六、〇四二、〇〇〇	?	?
暹羅	八、二六六、〇〇〇	?	?

合計	一四七五、三〇四、〇〇〇	三三、一五三、〇〇〇	二、二
計	一五九、二七三、〇〇〇	一、二、〇八〇、〇〇〇	七、六
匈牙利	四、七五三、〇〇〇	三、〇〇〇、〇〇〇	六、三
土耳其	二、二七四、〇〇〇	九、五〇〇、〇〇〇	四、五
埃匈國	五二、三六八、〇〇〇	四、〇〇〇、〇〇〇	九、一
獨逸	八〇、八七八、〇〇〇	六、〇六〇、〇〇〇	七、五
同盟國側	一、三二六、〇三三、〇〇〇	二、一、〇七三、〇〇〇	一、六
巴奈馬	四三、〇〇〇		
玖馬	二六、八〇〇		

一一、

交戦諸國の富

昭和七年十月

交戦諸國の富

交戦諸國の富は一兆三千八百二十一億餘円にして之を世界富の總額一兆五千二百二十七億餘円に對比すれば九一%なり、これを大別すれば左の如し

世界富の總額

一、五二二、七七四 百万円

總額に對する割合

一〇〇

内

交戦諸國

聯合國側

一、一七、〇二四

七三

同盟國側

二、六五、一七三

一八

計

一、三八、一八九

九一

其他の分

一、四〇、五七七

九

其他の分	計	二六六、一七三	富	總額に對する割合	一八
	合計	一三八二、一九七		九一	
其他の分		一四〇、五七七		九	

(主として一九一七年までの各種計算平均に依る)

一二、

交戦諸國の貿易額

交戦諸國の貿易額は六百九億餘圓にして之を世界總貿易額八百十億餘圓に對比すれば七五%なり

之が大別は次の如し

總貿易額

總貿易額に對する割合

内 交戦諸國	世界總貿易額	一九一五年乃至一九一七年の一年分	四三、三七四、〇七〇 <small>十圓</small>	三八、七二〇、四六四 <small>十圓</small>	八一〇、八四、五三四 <small>十圓</small>	總貿易額に對する割合
	内					

其の國別内譯は次表の通り
交戦諸國の貿易額の世界總貿易額に對する割合表

世界總貿易額	八一〇、八四、五三四 <small>十圓</small>	一〇〇
内		
交戦諸國		
聯合國側	四七、五七三、七五〇	五九
同盟國側	一三、三四八、五六一	一六
計	六〇、九二二、三一一	七五
其他の分	二〇、一六二、二二三	二五

國別年次輸出入計
總貿易額に對する割合

國別	年次輸入	年次輸出	計
聯合國側	八六〇、九三三	七二五、九九二	一、五七六、九二五
日本	二、〇四六、七五一	九、六三六、八七四	二、〇、六八三、〇二五
英國	三、八二一、六三七	三、一三六、二四七	六、九五七、八八四
佛國	三、五九九、九四八	四、九二一、二五八	八、五〇七、二〇六
米國	一、四二五、九三三	九、七四四、四一五	二、四〇〇、三〇八
伊國	一、三九六、四七三	一、六九九、八三六	三、〇九二、三〇九
露國	一、九七六、〇九一	一、四六一、八〇八	三、四三七、八九九
白耳義	四四六、八八	四五、二六五	八九、九五三
塞爾比	二二八、三三五	二九九、五三三	四八七、八九八
羅馬尼	三、三二六	九七五	四、三〇一
黑山國	二二、七九一	一二二、一五一	三、三五、九四二
葡萄牙			

國別	年次輸入	年次輸出	計
計	四、六〇九、九六六	二二、九六三、七八四	四七、五七三、七五〇
同盟國側	九、二〇、〇〇八	四、八七八、七五二	一、〇、〇八八、九六〇
獨逸	一、三二七、二二五	一、一七、八六七	二、五、一五、〇九二
埃匈國	三、八七、二〇六	二、一〇、六四八	五、九七、八五四
土耳其	七、七、一七九	六、九、四、四、六	一、四、一、一、五、五
勃牙利	二、〇、〇、八、八	六、二、八、六、七、四、三	一、三、三、四、八、五、〇
合計	三、三、〇、七、一、四	二、九、二、五、〇、五、七	六、二、〇、二、二、一、一
其他の方	一、〇、〇、〇、〇、〇	九、四、五、九、九、七	二、〇、〇、〇、〇、〇

(一九一五年米國政府發表に依る)

五九
七五
一〇

交戦諸國の船舶

交戦諸國の船舶噸数は三千七百九十餘萬噸にして世界船舶總噸數四千五百七十餘萬噸に對比すれば八三%なり、

これの大別を示せば左の如し、

區分 噸數

世界船舶總噸數 四五、七二九、二〇八噸

總噸數に對する割合

一〇〇

内

交戦諸國船舶噸數

聯合國側 三二、四四二、三一一

七一

同盟國側 五、五五一、二〇四

一二

計 三七、九九三、五一一

八三

其他の分 七、七三五、六九三

一七

其の國別内譯は次表の通

交戦諸國の船舶噸數の世界船舶總噸數に對する割合表

國別	隻數	噸數	總噸數に對する割合
世界船舶總噸數 (百噸以上)	二四、五〇八	四五、七二九、二〇八噸	一〇〇
内			
交戦諸國			
聯合國側			
日本	一、一五五	一、八二六、〇六八	
英國	一、〇二一	二、〇、八三〇、九一八	
佛國	一、〇一六	一、九〇九、六〇九	
米國	一、八六三	四、八五四、七四八	
伊國	六五五	一、五一三、六三一	

露國	七四四	八五一、九五	
白耳義	一八二	三五二、一二四	
塞爾比	一		
羅馬尼	三三	五四、二一〇	
黑山國	一		
葡萄牙	一〇四	九二、四二五	
支那	七九	九七、五三六	
暹羅	一		
玖馬	五七	五九、〇九一	
巴奈馬	一		
計	一六、一〇六	三二、四四二、三一	七一
同盟國側			
獨逸	一八九七	四、四一九、一六七	

埃白國	四二二	一、〇一六、六九五	
土耳其	一四五	一一五、三四二	
勃牙利	一		
計	二四六四	五、五五一、二〇四	一二
合計	一八、五七〇	三七、九九三、五一五	八三
其他の分	五、九三八	七、七三五、六九三	一七

(一九一五年度ロイド海上保險組合
船舶登録簿に依り)

一四、

交戦諸國の
鐵道

交戦諸國の鐵道哩数は五十九萬五千餘哩に
てこれの世界鐵道總哩數六十九萬餘哩に對比す

41 此は八六%を上占む、

二九が大別を示せば左の如し

區分 哩数

世界鉄道總哩数 六九〇、二〇〇

總哩数に對する割合

一〇〇

内

交戦諸國哩数

聯合國側 五一八、四〇九

七五

同盟國側 七七、四六〇

一一

計 五九五、八六九

八六

其他の分 九四、三三一

一四

其の國別内譯は次表の通

交戦諸國の鐵道哩数の世界總哩数に對する割合表

國別 哩数

總哩数に對する割合

世界鐵道總哩数 六九〇、二〇〇哩

内

交戦諸國

聯合國側

日本 八八八五

英國 一一七、二二九

佛國 三九、一五四

米國 二六七、一〇四

伊國 一一七、〇八

露國 五一四、八二

白耳義 六四七一

塞爾比 九七七

羅馬尼 二三八二

一〇〇

黑山國	一	一
葡萄牙	二九二三	一
支那	六四六八	
暹羅	一二一〇	
欽馬	二三五九	
巴奈馬	四七	
計	五一八四〇九	七五
同盟國側		
獨逸	四二四六六	
奧匈國	二九三三八	
土耳其	三八四二	
勃牙利	一八二四	
計	七七四六〇	二

合計	五九五八六九	八六
其他力分	九四三三一	一四

(一九一八年米國政府發表)
に依り



群馬県立図書館



0706341-5